

ナプロアース社長通信_第 14 回

みなさんの協力のもと、無事 7 月 21 日の「経営計画発表会」を終えることができました。この場を借りて感謝申し上げます。毎年続けていく事で、少しずつ内容の濃いものになっているのでは？と感じています。成長の足跡を残すためにも、来期は更に素晴らしい内容の発表会を目指していきましょう。

さて、今回のテーマは「**同じ方向を向く大切さ**」です。

正しい考え方をもち、正しく会社運営を続けていけば、しっかりと利益が出ることは経営計画で伝えた通りです。また、黒字経営となれば、相応の税金を納めることになります。まずは国税として「法人税」、そして地方税として「法人住民税」と「法人事業税」の 3 種類を支払うことになります。これからも、この土地で事業を続けさせてもらうための最低限の役目として、納税を果たしていくことが地域社会に貢献していると思っています。その税金の使い道について、私たちが口を挟むことはできませんが、きっと子孫のために住みやすい環境を作る振興活動に使われていると願っています。

税金を納める以外にも、私たちは社会貢献活動を続けてきました。地域の清掃活動や近隣の学校へチューリップなどのプランターをプレゼントしたり、リサイクルを題材にした絵本をプレゼントしたり、みなさんと共に誇らしい活動を続けています。このような活動が面倒なことだと感じる方が、まだおられるかも知れませんが、様々な経験を積み、年を重ねていけば、この活動が社会にとって必要なことだと理解してもらえると信じています。

当社に入社した際に、会社の理念などナプロアースで働く人としての心構えを新入社員研修で伝えていますが、その考え方に合わないと感じる方には『入社を辞退してもらっても構いません』と伝えてきたつもりです。それは、同じ目標と共に同じ想いを持ってなければ、お互いの役目を全うし、長く楽しく仕事を続けていくのは難しいと思っているからです。

有名なビジネス本であるビジョナリー・カンパニー2『飛躍の法則』の中で、「だれをバスに乗せるか？最初に人を選び、その後に目的地を選ぶ」という教えがあります。同じ考え方や想いを共有できる人を見つけ、目的地を決めていく。そのような仲間であれば目標を達成する事は難しい事ではありません。しかし、考え方や思いが違えば、目指していくゴールを見つけきらずチームは混乱してしまいます。そのような時は方向性が違う人をバスから降りてもらわなければならないという教えです。

実際の会社運営に当てはめると、方針や理念が合わないと思っている方は、辛い思いしながら仕事を続ける必要が無いと言う事です。ただ生活のためだけに稼ぎたいからと仕事を続けていては、会社にとっても本人にとってもマイナスでしかありません。会社にも面接を通して適正な方を選ばせてもらう権利を持っていますが、社員にもこの会社でなら自分のやりたかった事を実現できる可能性がある、「続ける or 続けない」を選択する自由があるはずで、その権利を持っている事は忘れずにいて欲しいと思います。

サービス残業や長時間労働が苦痛となり、自殺してしまう方がいるとニュースで取り上げられています。もう限界だと早く決断していれば、そんな悲劇は生まれなかったのではないかと、一人の経営者として残念な思い、とても悲しい気持ちになります。私はそんな悲劇を歩むような会社にはしたくないというのが本音だから、ここで伝えているつもりです。

会社の理念とは、基本的に不変のルールと言えるものなので、正しく理解してもらい納得したうえで働いて欲しいと思っています。思いが通じる人達であれば、どんなに苦しくても守っていくと約束します。最後に、この会社を辞めて欲しいからこのような文面になった訳ではなく、同じ方向を目指せないのなら、いつかどこかで別の道に進むことになってしまいます。それでは出会ったことが無駄になってしまうので、今回改めて伝えたかった訳です。何のために働いているのか、これからの人生をどう生き抜いていくのか…新たな年度が始まったこの時期ですから、じっくりと真剣に考えてみてください。

平成 30 年 7 月吉日 池本 篤